

1. 点検・評価の基本的な考え方

趣旨	○目的 効果的な教育行政の推進をはかるとともに、市民への説明責任を果たす ○根拠 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条 ○取扱 報告書を議会に提出・市民公表	対象	○平成29年度に実施した取組みを対象 ○教育委員会の取組みに加え、関係部課等の取組みも点検・評価
方法	○帯広市教育基本計画の「個別目標」「基本方向」ごとに実施 ○取組みの成果と、課題・今後の方向性の2つの観点から点検・評価	学識経験者の知見の活用	○学識経験者から意見・助言をいただき、点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取組みに向けて活用をはかる

2. 点検・評価の結果

次代を担う人づくり

知識・技能の習得

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
子どもの学力・学習意欲を高める教育の推進	○標準学力検査等で課題を明確にし、授業改善資料を活用した改善研修を行い、目標到達率を達成	○学習指導、授業改善、教職員への学力向上研修講座の開催のほか、学習習慣や生活習慣の改善を進める
個人や社会のニーズに応じた学習活動の推進	○プラザ・エンジョイスクールや高齢者学級において、周知方法を見直し、講座等参加者数は目標値を達成	○講座内容の見直しや新規講座の実施、広範な情報発信を行い、新規受講者の確保に取り組む
職業に関する教育・学習活動の推進	○小中学校において、キャリア教育を充実 ○帯広南商業高校において、進路指導等により、就職率・検定取得率は目標値を達成	○小中学校において、キャリア教育への指導・助言 ○帯広南商業高校において、教養等を身に付けた人材育成に努める
高度情報化に対応した教育・学習活動の推進	○小中学校がクラウド型サーバーシステムを活用しやすいよう教育効果の高い教材を提供	○SNSの正しい使い方やインターネットの安全利用に関する啓発活動に取り組む

豊かな心の育成

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
子どもの社会性の育成	○小中学校、帯広南商業高校において、児童生徒の悩み等へのきめ細かい相談体制に努めたほか、各種教員研修の開催やいじめ・非行防止への意識啓発 ○道徳の教科化に向け、小学校の「特別の教科道徳」の教育課程編成の手引きを作成	○不登校復帰に向け、個々や保護者への相談体制の充実のほか、教育相談員の活用を図る ○中学校の「特別の教科道徳」の教育課程編成の手引きを作成 ○子どもの居場所づくりにおいて、魅力ある講座の実施やスムーズな事業運営に取り組む
豊かな情操の育成と生きがいづくり	○学校図書ボランティア等が行う、読み聞かせや朝読書などにより、小中学校ともに貸出冊数は目標値を達成 ○市民主体の芸術・文化活動の支援や鑑賞機会の提供など、身近に芸術・文化に親しめる環境づくりを実施	○魅力ある蔵書整備、運営に係る担い手の確保や専門性の向上を図り、活用しやすい学校図書館づくりに努める ○市民協働による鑑賞機会の提供に向けた仕組みづくりを検討し、芸術・文化に関する魅力や開催情報などの情報発信に努める

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H29実績値 H29目標値	H31目標値
標準学力検査の目標基準到達率(観点)	26	41 40	42
帯広市教育委員会が開催する講座等の参加者数(人)	22,590	38,432 23,000	23,000
帯広南商業高等学校の就職率(%)	100.0	100.0 100.0	100.0
帯広南商業高等学校における検定の3種目以上1級取得率(%)	46.7	77.0 68.0	75.0



プラザ・エンジョイスクール
パソコン講座の様子



面接の基本指導の様子

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H29実績値 H29目標値	H31目標値
不登校生徒の復帰率(%)	30.8	28.7 60.0	65.0
子どもの居場所づくり参加児童数(人)	7,575	22,413 29,900	31,100
小学校図書館の児童1人当たり貸出冊数(冊)	9.1	16.0 11.2	11.8
中学校図書館の生徒1人当たり貸出冊数(冊)	1.6	4.0 2.2	2.4
鑑賞事業の入場者数(人)	34,098	28,874 38,000	38,000



定例相談会議の様子



学校図書ボランティアによる
読み聞かせの様子

健やかな体づくり

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
健やかな体を育むスポーツ活動等の推進	○各種大会やスポーツ教室の開催のほか、指定管理者と連携し、講習会などの内容を充実 ○フッ化物洗口の取組みにおいて、児童の歯・口腔の健康づくりを推進	○より多くの市民がスポーツに親しみ、楽しむことのできる機会づくりに努める ○各家庭へ少年団の情報提供を行う
食育の推進と学校給食の充実	○食に関する教育指導計画、食育推進委員会による啓発資料の作成のほか、食育講演会や食育出前授業、小中学校で給食指導を行い、食育を推進	○栄養教諭と食育指導専門員の互いの業務形態の工夫と改善に努め、食に関する指導の充実を図る ○地産野菜の導入に向けて、天候に影響されやすい収穫期の確保と端境期の使用量・品目拡大に取り組む

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H29実績値 H29目標値	H31目標値
スポーツ大会、スポーツ教室・講習会の参加者数(人)	35,677	68,871 87,000	87,000
総合型地域スポーツクラブの設置数(カ所)	2	4 7	8
学校給食における地産野菜の導入率(%)	55.7	57.3 69.3	70.0



2017フードバレー
とかちマラソン大会



各学校での食育指導の様子

人間を尊重し自然と共生する人づくり

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
人権・福祉・男女共同参画に関する教育・学習活動の推進	○ユニバーサルデザインに関する講座の開催機会を拡大 ○セミナーやパネル展の開催、情報誌の発行など、男女平等を啓発 ○援助や配慮を知らせるヘルプマークを配布し、障害者理解を促進	○ユニバーサルデザインに関する講座の開催や周知に努める ○セミナーや講座の開催など、男女平等意識の浸透・定着を図る ○差別に関する相談など、障害への理解促進に取り組む
グローバル化に対応した教育・学習活動の推進	○外国語指導講師を全小中学校に派遣し、外国語活動・指導を充実 ○帯広南商業高校において、専任の英語指導助手の配置や姉妹都市への生徒派遣など、国際理解を推進 ○在住外国人との各種交流など事業の魅力向上に努め、参加者は目標値を達成	○新学習指導要領や小学校外国語活動の教科化などに対応した指導のあり方を考え、外国語指導講師の人員増も含めた体制を検討する
環境に関する教育・学習活動の推進	○環境にやさしい活動実践校において、未認定校へ積極的に理解を促したことにより、新たに6校認定し、実践校数は目標値を達成	○環境教育プログラム集などにより情報を発信し、帯広らしい環境教育を推進する

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H29実績値 H29目標値	H31目標値
UDに関する講座等への参加者数(人)	234 (H17-19平均)	365 284	370
国際理解推進事業・国際交流事業の参加者数(人)	8,465 (H17-19平均)	10,099 9,180	9,350
環境にやさしい活動実践校数(校)	10	41 38	41



男女共同参画セミナーの様子



マディソン市への生徒派遣
出発の様子

ともに学びきずなを育む地域づくり

ふるさとの理解の促進

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
子どものふるさと教育の推進	○郷土・自然体験学習などを実施し、ふるさとへの理解を推進 ○百年記念館で出前講座を行い、ふるさとの自然を学ぶ機会を提供	○小中学校の体験活動等のプログラムの見直しなどを検討する ○百年記念館で教材の更新や新たなプログラムづくりに取り組む
地域に関する学習活動の推進	○地域に根ざした親しみやすいコミュニティ講座を開催し、参加者は目標値を達成 ○アイヌ民族文化情報センターで資料展示、出前講座や自然観察会の開催など、アイヌ文化に触れる機会を充実 ○アイヌ文化の保存・継承、理解を促進	○地域の文化や歴史を学び、理解を深める機会を提供するほか、効果的な周知方法を検討する ○リウカの利用や出前講座の周知を積極的に行うほか、アイヌの古式舞踊の保存・伝承団体への支援、イオル再生事業に取り組む

きずなづくり・まちづくり

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
まちづくりへの参画を促進する教育・学習活動の推進	○ジュニアリーダー養成事業や各種体験活動を実施し、参加者は目標値を達成 ○図書館、百年記念館や動物園において、定着したボランティア活動により、活用事例数は目標値を達成	○青少年体験活動において、積極的に周知し、参加しやすい体制づくりを検討する ○社会教育施設において、活動できる人員の充実に努め、知識・技術の専門性を活かした活動の場を提供する
にぎわいや交流を促進する文化・スポーツの振興	○おびひろ市民芸術祭において、多くのジャンルの団体が参加しやすいよう工夫し、参加団体数は目標値を達成 ○スケート合宿が順調であり、スポーツ合宿団体数は目標値を達成 ○全国・全道大会開催数の増加などにより集客数が増え、観客数は目標値を達成	○文化団体等が意見・情報交換する機会の提供や情報収集の手法を検討する ○帯広市スポーツ合宿・大会誘致推進実行委員会などと連携し、新たなチームの確保に向け、北海道はもとより首都圏への誘致活動の強化を図る

基本目標を実現するための基盤づくり

学校・家庭・地域の連携

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
開かれた学校づくり	○小中学校、帯広南商業高校で学校運営の意見をいただくなど学校評議員制度を活用 ○コミュニティ・スクール導入に向けた検討や研修会などを実施	○最新情報を学校評議員に提供するほか、研修機会や活用の充実に努める ○コミュニティ・スクール導入に向けて取り組む
家庭教育への支援	○妊婦向け講座の増により、子育て支援センター等利用回数は目標値を達成 ○家庭教育学級において、成長に役立つ学習を行い、教育力を向上 ○百年記念館、動物園で親子がふれあう学習機会を提供	○すこやかネットを通じて、これまでメールでは提供できなかった動画の視聴や子育て施設マップなど、より充実した情報を提供する
家庭や地域による教育支援の推進	○子どもを地域ぐるみで応援する取組みを進め、学校支援ボランティアを活用した学校数は目標値を達成	○地域の人材発掘や活動内容の充実に努めるほか、団体と人をつなぐコーディネーターのあり方を検討する

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H29実績値 H29目標値	H31目標値
地域について学ぶ講座等への参加者数(人)	4,053	6,122 4,000	4,000



ミニ百年記念館「エゾリスのくらし」の様子



体験交流事業の様子(植物観察会)

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H29実績値 H29目標値	H31目標値
青少年リーダー養成事業参加者数(人)	208	266 250	260
学習成果の活用事例数(件)	1 (H20)	10 8	10
発表・活動の場への参加団体数(団体)	56	106 63	65
各種スポーツ大会の観客数(万人)	16.0	20.9 20.8	20.8
スポーツ合宿団体数(団体)	150 (H20)	216 200	200



清掃奉仕活動の様子



文化団体によるステージ発表

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H29実績値 H29目標値	H31目標値
子ども1人当たりの子育て支援センター等の利用回数(回)	10.2	16.6 11.7	12.0
子育てメール通信の利用率(%)	23.8 (H20)	42.4 53.4	60.0
学校支援ボランティアを活用した学校数(校)	2	40 32	40



「ママと赤ちゃんのわくわく母乳講座」の様子



ボランティア同士のつながりを深める「こども応援！みらいカフェ」の様子

教育を支える人材の育成

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
教員の人間力・指導力の向上	○研修内容の充実などを図り、教職員研修受講回数は目標値を達成 ○学校訪問において、指導・助言を行い、教職員の指導力を向上 ○教職員の勤務状況の改善等に向けた取組みを協議	○積極的な参加の呼びかけのほか、教員リーダー育成事業において、教員の資質・能力などの向上を図る ○部活動休養日を設定するなど、教職員の働き方改革を推進する
地域の人材の発掘・育成・活用	○ホームページに未掲載の団体に積極的にPRするなど、文化団体数は目標値を達成 ○人材育成、競技力向上やスケート人口拡大など、スピードスケートの普及振興を推進	○積極的にわかりやすい周知活動や指導者の育成につながる講座等の開催により、地域の人材発掘と活用を図る

教育環境の充実

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
学校教育の環境整備	○小・中学校校舎及び非構造部材の耐震化を完了 ○長寿命化計画策定に向けて、劣化調査を実施	○施設の機能確保のため、「(仮称)帯広市学校施設長寿命化計画」を策定する ○継続的な修繕により、教育環境の施設の延命化と改善に努める
社会教育の環境整備	○図書館システムを更新し、新たなサービスを開始したほか、ホームページをリニューアル ○利便性の向上と安全性の確保のため、社会教育施設を整備	○図書館において、子育て応援バッグの貸出しや高校生紹介本の設置など、利用者サービスの充実に努める ○社会教育施設の機能を維持できるように施設状況を把握し、施設・設備の修繕等を行う
保育・体験活動の環境整備	○児童保育センターの増築や改修等を実施 ○児童会館でアニメ番組を導入するなど、入館者数は目標値を達成	○老朽化した保育所や児童保育センターの整備、低年齢児の受け入れ枠の確保に向けた取り組みを進める

教育機会の確保

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
就学・進学への支援	○農村地域の遠距離通学等の移動手段としてスクールバスを運行 ○新中学1年生の学用品費を入学前に支給したほか、PTA会費や生徒会費の支給を開始 ○私立高等学校生徒授業料補助や奨学金により、保護者負担を軽減	○スクールバスの計画的な更新を進める ○国、道や他市町村の動向も踏まえながら、就学援助等の制度を適切に運営する ○高校の問口を維持・確保するため、情報収集や要望活動を行う
健やかな発達の支援	○学校や地域の状況、保護者や専門家の意見等を総合的に勘案し、特別支援学級の設置数は目標値を達成 ○特別支援教育補助員の増員、助手や生活介助員の継続した配置	○特別支援教育補助員や助手、生活介助員を各学校の実情を踏まえて配置するほか、合理的配慮に基づいた環境の整備に努める

よりよい教育のためのしくみづくり

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
魅力ある学校づくりの推進	○地域と密着した活動や人材の活用など、小中学校で実施	○人材発掘と確保を図り、地域と連携した教育活動の充実に取り組む
学校教育のしくみの工夫改善	○エリアの日に挨拶運動等を実施 ○小中一貫教育制度導入に向けた検討や先進地の視察 ○「帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画」の策定に向けた取組み	○帯広市エリア・ファミリー構想の考え方を教職員、地域や保護者に広く浸透させる ○小中一貫教育の推進に関わる基本的な考え方を整理する ○選定予定校の今後のあり方の検討を進める
社会教育施設の利用の促進	○社会教育施設の充実に努め、総利用者数は目標値を達成	○文化・スポーツ施設の利用促進を図るため、情報発信に努める
地域の実情に応じた教育行政の推進	○教育懇談会、教育関係団体などの意見交換会を開催し、ホームページに概要を掲載	○幅広い市民や教育関係団体が参加できるように、会場や開催方法の工夫と改善を進める

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H29実績値 H29目標値	H31目標値
教職員1人当たりの研修受講回数(回)	2.2	3.5 2.8	3.0
地域の指導者の登録者数(人)	138	170 180	190
ホームページで芸術・文化活動を紹介する文化団体数(団体)	260	274 270	272



「ONE-UP研修会」で浄瑠璃体験をする様子



スケートキングダム(ジュニア)の様子

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H29実績値 H29目標値	H31目標値
小・中学校校舎の耐震化率(%)	46.5	100.0 83.5	100.0
市民1人当たりの図書等の貸出点数(点)	5.4	5.2 6.7	7.0
児童会館の入館者数(万人)	10.9 (H17-19平均)	14.6 11.8	12.0



自動貸出機、検索機(OPAC)もリニューアルしました



児童会館プラネタリウムの活用

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H29実績値 H29目標値	H31目標値
特別支援学級の設置数(学級)	38	80 59	59



知的学級の授業の様子

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H29実績値 H29目標値	H31目標値
社会教育施設の総利用者数(万人)	95.2	110.7 95.2	95.2
文化施設の利用者数(万人)	54.8	55.4 60.0	60.0
スポーツ施設の利用者数(万人)	114.8	107.8 128.6	128.6



「よりどりみどりがおかウィーク!」の様子(工作「不思議なコマをつくろう」)



教育懇談会の様子(川西農業者研修センター)